

第72回国立大学法人奈良女子大学経営協議会議事要録

日時 令和3年1月19日(火) 14時58分～16時53分
場所 遠隔会議：第一会議室(事務局管理棟3階)、研究室等
出席者 今岡学長、藤原理事、小路田理事、小川理事、野村理事、平井理事
井岡委員、河野委員、清水委員、牧田委員、松本委員、村岡委員、山川委員
列席者 三野監事、福田監事、河本事務局長、岩阪事務局次長／総務・企画課長、
桑原国際課長、川村研究協力課長、林財務課長、清水施設企画課長、
鱸学務課長、西村学生生活課長、早川入試課長、横井学術情報課長
荒堀総務・企画課課長補佐、米谷総務・企画課課長補佐、
竹内総務・企画課総務係長
議長 今岡学長

議事に先立ち、

- (1) 学長より、令和3年4月1日からの次期学長候補者として再任されたことに伴う挨拶。
- (2) 学長より、次期理事及び副学長候補者について報告。
- (3) 第71回経営協議会(令和2年11月27日開催)記録を確認。

審議事項

1. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書について

学長から、資料1-1～1-4により、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書について説明の後、意見照会があった。

井岡委員からは、適合状況について適切に説明できており、本内容で良いとの意見があった。その上で、今後の大学運営に関して、1点目として、原則1-1に記載のとおり、「奈良カレッジズ」に対する地域からの要望を踏まえ、今後本学の強みをより発信して欲しい、2点目として、原則1-4に記載の次代の経営者の育成は、まさに課題であり急務であると認識しているので、限られた人だけではなく、役職者となる者は誰もが次の経営者になっても良いような人材育成が実現すると良い、3点目として、学生の満足度に関し、本学の学生は満足度が高いということを上手に発信できるような広報をしていただきたいとのコメントがあった。

河野委員からは、適合状況については異論はないとの意見があった。その上で、補充原則4-1③に記載のコストの見える化は難しい問題であり、国のプロジェクトでも評価の軸の一つになっている。最近、研究や教育における投資対効果が重視されつつあるなかで、論文数のような数値化しやすい指標でアウトカムが評価される傾向にあるが、社会で活躍する人材の創出も立派なアウトカムだと思う。例えば次世代を支える教育者、イノベーション創出に寄与するサイエンス人材、地域の活性化に貢献する人材の創出等、人材育成を全面に出してもいいのではないかとコメントがあった。

清水委員からは、すべての適合状況について、適切に回答できているとの意見があった。その上で、今後の人員及び資金等の適切な資源配分に関して、補充原則1-2①については、補充原則1-2②のように、今後IR活動によっても実現していくようになるれば良いのではないかと、また補充原則2-3-3①については、抽象的であり今後さらに具体性のあるものにしていったらよいのではないかとコメントがあった。

牧田委員からは、原則2-3-2における多様性について、国際性の観点からの記載を加えると良いとのコメントがあった。

松本委員からは、適合状況については総体として問題はないとの意見があった。その上で、補充原則1-3③について、女性を積極的に登用していることは記載されているが、年齢構成についての記載を加えると良いとのコメントがあった。

山川委員からは、1点目として、補充原則1-3③について、女性登用の視点だけでなく、障がい者や外国人研究者の雇用についても取組方針の記載を追加したら良いのではないかと、2点目として、補充原則4-1②について、女子大学としての存在意義やアイデンティティを示すものとして、3つのポリシーと進路状況の統計を記載しているが、卒業生の満足度や学修成果に関する調査結果があるのであれば、入手先だけでも大学Webページにアップできれば良いのではないかとコメントがあった。また、本適合状況の公表をWebページにおいて公表することを機に、大学Webページの更新状況も点検し、最新情報を発信できるようにして頂きたいとの指摘があった。

村岡委員からは、適合状況についてはすべて妥当な記載がされているとの意見があった。その上で、民間企業でもコーポレートガバナンスコードが適用されて年数が経過しているが、未だ発展途上の感があり、パーフェクトにやれていることは少ないのが実情であるので、本学でもこれから一步一步検討を進めて頂きたいとのコメントがあった。

2. その他 特になし

報告事項

1. 危機管理対策本部について

学長から、附属中等教育学校生徒の行方不明に伴い設置した危機管理対策本部の経過報告があり、12月28日付けで文部科学省への基本調査報告書を提出したことを以て対策本部としての対処が終了したことから、同日をもって危機管理対策本部を解散したとの報告があった。

2. 奈良教育大学との連携協議について

学長から、資料2により、奈良教育大学との連携協議の進捗について報告があった。

3. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について

小路田理事から、資料4により報告があった。

4. 第4期中期目標・中期計画の検討状況について

小路田理事から、資料5-1～5-3及び資料7により報告があった。

5. 学内諸規程の制定等について

学長から、資料6により、令和2年12月に一部改正した国立大学法人奈良女子大学教育研究評議会規程等について報告があった。

6. 国立大学を取り巻く最近の動向について

学長から、資料7により報告があった。

7. 本学の現状について

学長から、資料8により報告があった。
事務局長から、資料9により報告があった。

8. その他

学長から、令和3年3月末で任期満了となる牧田委員について、教育研究評議会の意見を聴いたうえで、再任を依頼したいとの報告があった。

以 上